

地域における公益的な取組 取組事例集 2023



地域における公益的な取組とは

平成28年度の社会福祉法改正により、第24条第2項に全ての社会福祉法人の責務として「地域における公益的な取組」の実施が明記されました。

これは、地域共生社会に向けて、制度や市場原理で満たされないニーズについても率先して対応するという、社会福祉法人の本来の役割を明確にするためのものです。

また、社会福祉法人が地域のニーズに取り組む姿勢を示していくことは、地域における信頼性を向上させ、存在価値を高めることにもつながっていきます。

※以下の3つの要件のすべてを満たす必要があります。

- 1) 社会福祉事業又は公益事業を行うに当たって提供される福祉サービスであること
- 2) 日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対する福祉サービスであること
- 3) 無料または低額な料金で提供される福祉サービスであること

取組事例①

こども食堂(こども塾☆わいわい食堂)

社会福祉法人正恵会(宇都宮市)

【きっかけ】

学校から家に帰っても一人になってしまう子や、経済的に困難を抱えた子どもや親たちの応援ができないかと考えました。

【取組内容】

宇都宮市の医療介護事業を営む3法人で「子どもの未来応援隊」を設立し、宝木町の当施設で子ども食堂を月2回運営しています。

寄付で頂いた食材等を調理して食事やお弁当を無料で提供する他、勉強や遊びの見守り、子どもや親たちとの対話を通じて、地域の大切な居場所となれるように取り組んでいます。夏祭りイベントを行ったり、栗拾いに出かけたりもしています。地域の人たちにボランティアとして参加して頂き、地域ぐるみで子どもたちの成長を見守っています。

取組事例②

地域食堂(若草ひかり食堂)

社会福祉法人同愛会(宇都宮市)

【きっかけ】

福祉事業を展開していく中で地域のニーズは障害関係だけでなく様々なことがあると感じ、地元自治会とも協議をしながら活動を開始しました。

【取組内容】

平成29年5月から週に1回子ども食堂(地域食堂)を開催しています。栄養士が考える栄養バランスの取れた食事を大人数で楽しむことができる居場所を提供することで、住民同士の繋がりをつくることや地域の子どもの様々な年齢の人と関わることで社会性を育むことを目的の一つとして活動しています。

取組事例③

地域交流ホーム「絆館」及び「飛山グランド」の貸し出し

社会福祉法人飛山の里福祉会(宇都宮市)

【きっかけ】

法人として、地域の方に何ができるかと考えたときに「絆館」や「飛山グランド」を利用していただけのではないかと思いました。また、絆館やグランドを利用することにより、少しでも福祉のことに興味を持っていただければと思いました。

【取組内容】

地域交流ホーム「絆館」は、バレーボールコート1面、バドミントンコート2面を取ることができる「アリーナ」の貸出、スポーツや各種文化活動、大規模集会に、地域の方々に開放し、地域活動や交流の場として幅広く活用していただいています。

「飛山グランド」は、地元自治会の体育祭やグランドゴルフ、サッカー教室、野球教室等、地域の方々に開放し、幅広く活用していただいています。

取組事例④

学校への職員派遣(介護の授業)

社会福祉法人長寿栄光会(宇都宮市)

【きっかけ】

栃木県の職能団体や他法人からの依頼や、職員個人の知人づてに依頼があり、定例化しています。

【取組内容】

宇都宮市や近隣市町の小中学校に行って、介護や認知症について話をしています。学校との関係性も築けており、今後も続けていきたい取組です。

取組事例⑤

地域における「出張相談会」

社会福祉法人恩賜財団済生会支部栃木県済生会
(宇都宮市)

【きっかけ】

新型コロナウイルス禍以降、地域の住民の方への見学会や相談会等が開催できない状況が続いていたため、地域のまちづくり協議会会長及び各自治会長等のご意見を踏まえ、令和4年度から富屋地区の各自治公民館を借用し、「出張相談会」を開催することになりました。

【取組内容】

高齢者ケアセンターが建つ富屋地区(全13地区)の住民を対象に、当センター職員(生活相談員、介護支援専門員、看護師、管理栄養士等)が地域の自治公民館(計8か所)に出向き、専門職の視点で地域の「お困りごと」に対しアウトリーチによる活動を行うものであり、住民の方に介護相談や当センターの紹介、健康相談の啓発、さらには、生理用品の配布などの活動を行っています。

取組事例⑥

地域の方へフリースペースの貸し出し

社会福祉法人すぎなみき会(日光市)

【きっかけ】

平成29年12月から貸し出しを開始し、地域の方が気軽に集まれる場所として利用いただいていた。コロナ禍になり、感染症対策として一時的に貸し出しを取りやめていましたが、令和5年5月から貸し出しを再開しています。

【取組内容】

地域生活支援拠点すぎなみきタウンにて「ふれあいホール」を無料で貸し出ししています。現在もクラブ活動や会議で利用いただいています。

取組事例⑦

外出・買い物支援事業への車両の貸出

社会福祉法人すかい(日光市)

【きっかけ】

日光市社会福祉協議会足尾支所の車両が老朽化により廃車となり、車両貸出事業の協力依頼がありました。地域貢献のため、連携して事業を運営していくことにしました。

【取組内容】

日光市社会福祉協議会足尾支所の外出や、買い物支援事業(通称:あかがねかもしか号)への法人車両の貸し出しを行っています。

取組事例⑧

こどもおべんとう

社会福祉法人京福会(那須塩原市)

【きっかけ】

令和3年3月よりNPO法人「子どもの育ちを応援する会」と那須塩原市内の宴会場「榊原会館」が子ども食堂のお弁当配布版である「こどもおべんとう」を開始するという情報を得て、かねてから当法人でも子ども食堂を開始したいと考えていたので協力を申し出ました。調理作業も配布もとても楽しい雰囲気運営されており、毎回配布から30分程度で完売になります。

【取組内容】

毎月第2日曜日に那須塩原市内の2つの小学校で合計150食(中学生以下は無料・大人には1食500円)配布しています。京福会では①取引先企業から食材の無償提供の募集、②献立の作成、③職員に調理ボランティアの募集・勤務者2名(特養の生活相談員等)を配布作業に従事などで協力しています。

取組事例⑨

心のバリアフリー推進

社会福祉法人すぎのこ会(栃木市)

【きっかけ】

昨年度に地域における公益的な取組として実施した当会の「心のバリアフリー冊子作成・小学校への配布」事業がきっかけで栃木市社会福祉協議会の地域福祉担当者から福祉教育の推進について連携の打診があり、実施につながりました。

【取組内容】

- ①栃木市社会福祉協議会と連携し、社協主催の小学校4～6年生対象のサマーボランティアスクールを受け入れ、法人内施設で、法人の利用者と一緒にポッチャを楽しんだり、施設の様々な介護機器の体験などを提供しました。
- ②栃木市社会福祉協議会と連携し、地元の小学校から社協に依頼があった福祉教育授業に協力しました。法人職員と利用者が小学校に出向き、体育館で一緒にポッチャなどを通して交流を図りました。

取組事例⑩

障害者施設と地域住民をつなぐ「浅市」

社会福祉法人とちのみ会(佐野市)

【きっかけ】

新設の地域生活支援拠点の施設として地域に何ができるかを考えた際、地域の方達がコミュニケーションの輪を広げられる交流の場が作れ、また同時に多くの方達が気軽に足を運んでいただく機会が設けられたら・・・と考えました。

【取組内容】

地域の農産物や地元の方の手芸品、地元高校生が開発した商品(オリジナルソース)など、地域の方達に施設の敷地を活用した浅市(朝市)の場で出店販売をしていただいています。小さなお子さんも楽しめるゲームなども用意し、ご家族連れでも来場しやすい工夫をしました。市(いち)に気軽に来ていただいて施設や福祉を身近に感じていただくことにより、施設利用者への理解にもつながり、お困りごとなども相談しやすい場所となっています。